



使用説明書

(使用前には必ず本説明書を読み、注意事項を守って使用して下さい)

ニューラクトバイオ 乳酸菌混合飼料 (鶏用)

20mL バイアル × 10

■含有する飼料添加剤の名称

ラクトバチルス・アシドフィルス、グルタミン酸ナトリウム、塩化カリウム、炭酸水素ナトリウム、硫酸マグネシウム、硫酸マンガン、リン酸一水素カリウム、リン酸一水素ナトリウム

■原材料名

乳酸菌、カゼイン製ペプトン、でんぷん、乳糖、塩化ナトリウム

■ニューラクトバイオの特徴

- ◇健康な鶏の腸内細菌叢から分離された鶏由来の乳酸菌を培養し、凍結乾燥した鶏用の乳酸菌製品です。従って消化管粘膜への「定着性」・「増殖性」に優れています。
- ◇乳酸菌にとって最も保存安定性に優れているといわれる真空凍結乾燥法により製品化されていますので、乳酸菌数の低下も少なく、保存性に優れています。
- ◇餌付け・移動・ワクチネーション・強制換羽時等に起こる腸内細菌叢のバランスのくずれを防ぎ、正常に保つことができます。

■ニューラクトバイオの給与法

1) 基本的な給与方法

- 本製品 1 本は 5,000 羽分を目安にヒナ又は成鶏に給与してください。
- 殺菌剤、消毒薬及び抗生物質等を含んでいない水に溶解し給与します。
- エサに練り込んだり、水に溶解したニューラクトバイオをエサにかけ給与してもかまいません。
- いずれの方法においても、溶解後できれば 3 時間以内に、長くても 6 時間以内に給与することが大切です。

2) 基本的な給与時期

- 初生ヒナの消化管にできるだけ早い時期に乳酸菌を定着させることを目的に、餌付けと同時に、または翌日に第一回目の給与を行います。
- その後は、移動、ワクチネーション、強制換羽時等に給与します。これは、消化管内の乳酸菌の減少・消失といった現象（その結果、大腸菌など有害細菌が急増することがあります）に対応するためです。
- ニューラクトバイオの給与プログラムは、経済性も考慮し、農場に合わせてプログラム化することが大切です。下表の「標準給与プログラム」(表 1) (表 2) を参考に、農場に合ったプログラムを組むことをおすすめします。

■ニューラクトバイオ給与上の注意

- ◇殺菌・消毒剤との併用は避ける。
特に飲水給与の場合、水の中に消毒剤が混入していると、その濃度によって乳酸菌が著しく減少することがあります（上水道に含まれる程度の塩素濃度であれば問題ありません）。
- ◇抗菌・抗生物質との混用は避ける。
抗生物質の種類および濃度によっては、乳酸菌の菌数に影響を及ぼすものがあります。むしろ抗生物質投与による腸内細菌叢のバランスの崩れを是正するために、「抗生物質投与後のニューラクトバイオ給与」を習慣づけるべきです。
- ◇6 時間以内に給与する。
ニューラクトバイオを水に溶解したのち長時間放置しておくことは乳酸菌数の減少につながります。できれば 3 時間以内に給与することが理想です。
- ◇全羽数に飲ませる
全部の鶏にできるだけ均一な乳酸菌数を給与するようこころがけてください。

◆本製品は動物用医薬品（ワクチン・抗生物質など）ではありません。

本使用説明書をよく読んでお使いください。

◆2～5℃の冷暗所に保存すること。

◆小児の手の届かない所に保管してください。

■ニューラクトバイオ標準給与プログラム

■表 1…ブロイラー



■表 2…採卵鶏（ブロイラーの種鶏を含む）



製造業者の名称及び住所

va japan INOVA ワクチノーバ株式会社
東京都港区浜松町1-24-8

製造事業所の名称及び住所

ワクチノーバ株式会社 栃木ラボラトリ
栃木県日光市小倉82-1